

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり11.6人と、3週連続して減少していますが、まだ注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えています。

ここ数年、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向にありますので、今後の動向に注意が必要です。

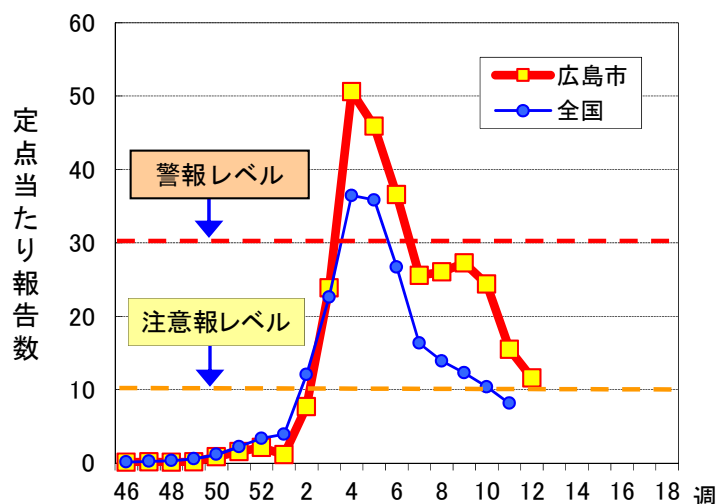
なお、市内の基幹病院2か所による迅速診断キット検査結果では、2月下旬以降、B型が主流となっています。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり7.21人と、ほぼ横ばいで推移しています。また、市内の基幹病院2か所による迅速診断キット検査結果では、ロタウイルスの報告が増加しています(次頁参照)。

例年2月から4月頃は、ロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎が多くなりますので、感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号
インフルエンザ	429	11.59	6.44	◇	ヘルパンギーナ	-	-	0.04	
咽頭結膜熱	12	0.50	0.20		流行性耳下腺炎	4	0.17	0.61	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	1.46	1.63	▶	RSウイルス感染症	7	0.29	0.16	
感染性胃腸炎	173	7.21	10.36	▶	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
水痘	25	1.04	1.21	▶	流行性角結膜炎	1	0.13	0.75	
手足口病	15	0.63	0.76	▶	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	0.24		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	15	0.63	0.57		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31	
百日咳	-	-	0.14		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	38	男性(30歳代)・2人、男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第8週	963	8	34	214	36	11	-	10	3	-	-	9	-	2	1	1	2	-
		第9週	1,009	5	28	199	26	7	-	8	2	-	4	7	-	2	-	-	-	-
		第10週	902	5	37	222	34	9	4	6	3	-	1	4	-	2	-	-	-	-
		第11週	573	5	23	186	27	9	-	10	1	-	-	8	-	4	-	-	-	-
		第12週	429	12	35	173	25	15	-	15	-	-	4	7	1	1	-	-	-	-
定点当 たり	広島市	第8週	26.03	0.33	1.42	8.92	1.50	0.46	-	0.42	0.13	-	-	0.38	-	0.25	0.14	0.14	0.29	-
		第9週	27.27	0.21	1.17	8.29	1.08	0.29	-	0.33	0.08	-	0.17	0.29	-	0.25	-	-	-	-
		第10週	24.38	0.21	1.54	9.25	1.42	0.38	0.17	0.25	0.13	-	0.04	0.17	-	0.25	-	-	-	-
		第11週	15.49	0.21	0.96	7.75	1.13	0.38	-	0.42	0.04	-	-	0.33	-	0.50	-	-	-	-
		第12週	11.59	0.50	1.46	7.21	1.04	0.63	-	0.63	-	-	0.17	0.29	0.13	0.13	-	-	-	-
	全国	第10週	10.37	0.32	2.37	10.39	1.23	0.20	0.05	0.48	0.01	0.02	0.25	0.34	0.03	0.48	0.03	0.01	0.50	0.04
		第11週	8.13	0.32	2.28	10.18	1.08	0.20	0.05	0.50	0.01	0.02	0.24	0.33	0.03	0.43	0.02	0.02	0.53	0.02

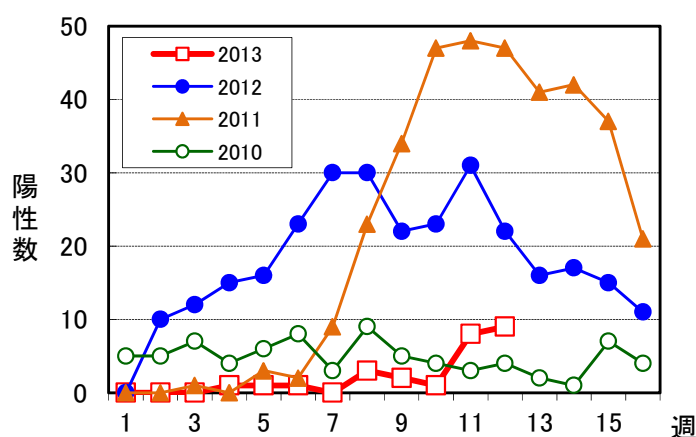
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(39.8) 発疹	0	女	2013/02/02	咽頭拭い液	エンテロウイルスNT
インフルエンザ	発熱(38.0) インフルエンザ様症状	2	男	2013/03/06	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】ロタウイルスの迅速診断キットにおける検査状況



感染性胃腸炎の原因ウイルスとしては、例年、12月から2月頃はノロウイルス、2月から4月頃はロタウイルスが多くなっています。

市内の基幹病院2か所によるロタウイルスの迅速診断キット検査結果では、今年は少ない状態が続いていましたが、前週・今週と2週続けて陽性数が増加しています。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、ノロウイルスに比べると患者の年齢層がやや低く(6か月から2歳くらいの乳幼児に多い)、症状が少し重い傾向にあるといわれています。

健康管理に注意し、手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第12週(3月18日～3月24日)